

# 北総線 小室・印旛日医大 運賃全額 千葉ニュータウン鉄道 へ渡す協定

## 白井市議会、千葉県議会で問題に

北総鉄道が「小室・印旛日本医大駅」間の線路の所有者「千葉ニュータウン鉄道（株）」に支払う「線路使用料」が、「同区間の乗客運賃全額」という不合理な協定の問題点が白井市議会と千葉県議会で相次いで取り上げられ、その是正が求められました。

### 30年3月が協定の改訂期

白井市議会 多田育民 議員

多田議員は、北実会がチラシで、北総鉄道と千葉ニュータウン鉄道の線路使用条件の協定の改定期が平成30年3月で「2年後が改定のチャンス」と言っているが、どう理解しているかと質問。市は「担当者が北総鉄道にチラシの内容に間違いはないか照会し、文書の提供を頼んだが、回答はいただけなかった」と答弁。副市長も重ねて電話で要請したが同じ回答だった、と答えました。

多田議員は、北実会が主張している文書を自分も持っていると内容を紹介。この議論を通して協定の改定期が平成30年3月であることに疑いないことが確認されました。

【平成28年9月6日 白井市議会】

### 是正へ向け市も意思表示を

白井市議会 柴田圭子 議員

柴田議員は、北総鉄道が千葉ニュータウン鉄道に払う線路使用料が約25億円で、北総鉄道の運賃収入の21%にも当ると述べて、「約5%値下げに必要な原資が6億円だったから、いかに大きな値下げ原資になるかが分かる」と指摘。両社の取り決めが「千葉ニュータウン鉄道の累積欠損解消までの当分の間」と条件付きで、その条件も数年後には解消するのは明らかだから、市も引き下げへ向け意思表示せよと求めました。市は正面からの回答はさけつつも、「線路使用料が不公平との認識はある。今後損益の状況が変われば取り決めの内容も変わると思う」と答弁しました。

【平成28年9月9日 白井市議会】

### 「2種業区間の赤字」を暴露

千葉県議会 丸山慎一 議員（共産）

丸山慎一議員（共産）は、まず、北総鉄道の運賃の高さや京成電鉄が線路使用料を実質的に払わない不合理を県はどう認識しているかと質問。続いて千葉ニュータウン鉄道に払う小室・印旛日医大間の線路使用料の額が、北総鉄道25億円に対し京成電鉄は3億6千万円と不公平である事実にふれ、このため「北総鉄道の2種事業区間（小室・印旛日医大間）は収入が32億円、支出が42億円と10億円もの赤字になっている、とんでもない事実を知っているか」と追及しました。企画部長は質問に正面からは答えず「北総鉄道が経営改善に努めることが大事だ」などの外れな答弁で逃げました。

【平成28年9月29日 千葉県議会】

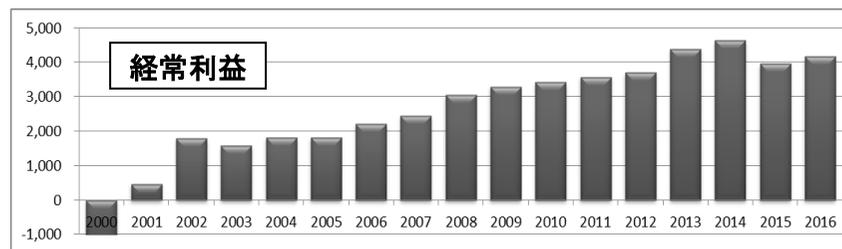
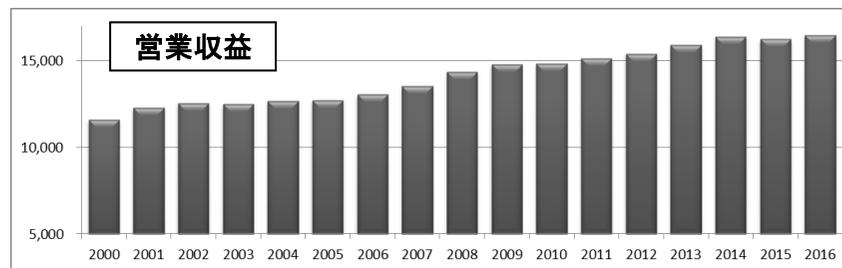
# 北総鉄道

# 業績好調 ずっと右肩上がり

「経営が厳しい」を口実に日本一の高運賃を押しつけている北総鉄道ですが、実は 2000 年に入ってから一貫して右肩上がりの成長ぶり、決算内容は好調です。今年 6 月に発表された 27 年度の決算も前期比増収増益。その内容をみてみると表の通り、どの指標でも前期よりも増加していて、その好調さがわかります。

	27 年度実績	前期との比較	増減率
輸送人員	36,759 千人	877 千人増	2.4%増
旅客運輸収入	120 億 3,800 万円	3 億 8,100 万円増	3.3%増
営業利益	49 億 7,400 万円	1 億 7,200 万円増	3.6%増
経常利益	41 億 7,100 万円	2 億 700 万円増	5.2%増

## 27年度決算も増収増益



## 三つの顔をもつ社長

さて、どこの利益を守るのか？  
それはもちろん〇〇でしょう。

平成 28 年度、北総鉄道の代表取締役社長には平田憲一郎氏が就任しました。同氏は同時に京成電鉄の No.2 の代表取締役副社長にも就任し、これまでの千葉ニュータウン鉄道・代表取締役とあわせ、三つの顔をもつ社長となりました。会社法で「会社のために忠実に職務を行う義務」が課せられている代表取締役。「千葉ニュータウン鉄道への線路使用料の引き下げ」は北総の社長としては YES でも、千葉ニュータウン鉄道の社長としては NO。さて、一体どっちの「忠実義務」に服するのでしょうか。

## 白井市議会議員と北実会 北総線問題で意見を交換



6 月 24 日、北実会は白井市議会議員 19 名の皆さんと

2 時間にわたり北総線問題で有意義な意見交換を行いました(写真)。北実会は印西市議会の議長にも同趣旨の会の開催を申し入れています。

ご案内

北総線裁判 第10回口頭弁論 報告会

10/23 ⑧ 10:00~ 印西市 中央駅前地域交流館 2 号館  
主催・二次訴訟の会